

第1回東郷町まちづくり会議の報告

1. 東郷町まちづくり会議の概要

①東郷町まちづくり会議の目的

- ・東郷町では、現在「東郷町都市計画マスタープラン」の策定に向け、検討を進めています。
- ・都市計画マスタープランは、主に町全体の都市計画の基本的な方針を示す「全体構想」と、各地域のきめ細かいまちづくりの方針を示す「地域別構想」により構成されます。
- ・地域別構想の策定にあたり、地域（地元）をよくご存じの皆さんに、地域の実情・問題・課題などを指摘していただくとともに、将来どのような地域になったら良いか、率直なご意見を伺うことを目的として、「東郷町まちづくり会議」を開催しました。

②開催概要

日 時：2019年8月30日（金）19：00～21：00

会 場：東郷町役場会議室

参加者：町民 25名、東郷町職員 9名、コンサルタント 4名

【東郷町まちづくり会議委員名簿】

	Aグループ（東部地域）	Bグループ（中部地域）	Cグループ（西部地域）
区・自治会 推薦委員	水野 里士	小島 一夫	石川 泰洋
	加藤 修	加藤 正教	竹内 一司
	中山 一夫	斉藤 秀平	佐藤 忠勝
	近澤 道夫	佐伯 信孝（欠席）	水野 敏秋
	祖父江 寿恭	半田 清春	近藤 明生（欠席）
	横井 一男	平手 利英（欠席）	近藤 勝弘
公募委員		逢坂 馨	佐藤 陽二
	中根 知彦	水野 絵梨香（欠席）	山田 真里亜（欠席）
	伊波 恵里子	磯村 小百合	鳥居 紗歩（欠席）
	織田 英嗣（欠席）	清水 友博	松島 陽平
	柘植 雄治	小林 浩治	
	柘植 俊秀		

※上記のほか各グループにファシリテーター（コンサルタント）、補助員（町職員）が参加

※各グループは中学校区で分けております。 Aグループ（東部地域）：諸輪中学校区

Bグループ（中部地域）：東郷中学校区

Cグループ（西部地域）：春木中学校区

③当日のスケジュール

1. 開会
2. 町長あいさつ
3. 都市計画マスタープランの概要について
4. まちづくり会議の概要について
5. 地域の魅力や課題についての話し合い
テーマ1【地域の優れた点・魅力、守るべき・残したい資源は何か】
テーマ2【地域での問題、課題は何か】
6. 地域ごとの発表
7. 閉会



④話し合いの様子



2. グループごとの検討結果

■ 東部地域

テーマ1【地域の優れた点・魅力、守るべき資源】

第1回東部町まちづくり会議 2019年8月30日(金) チーム名: A(東部地域)

テーマ1: 地域の優れた点・魅力、守るべき資源は何か

	地域の良いところ
豊かな自然	<ul style="list-style-type: none"> 愛知池周辺 愛知池の保全と活用 愛知池を始め、緑が多い ポートなどスポーツが活発 自然が残っている 緑が多い(しかし管理が行き届いていない) 豊かな農地 田園風景を少しでも多く残す 農地・住居が残っている 自然環境
利便性(自動車)	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋、豊田にはさまれて道路が発達している 153号線、東名と自動車利用の便がいい 名古屋へのアクセスがいい 商業施設が近隣に多くなり女性の行く場所が多い トヨタの会社へ通勤しやすい
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 水害の心配がない 防犯上の安全性
伝統・文化	<ul style="list-style-type: none"> 8月上旬に行われる白鳥神社〜観音寺の囃子太鼓 諸輪地区の伝統芸能がちゃんと残っている(棒の手、太鼓)
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> 野菜を作っている人もたくさんいるので物々交換できたりと食べ物に困らない 隣近所に顔を知らない知り合いが多い。けど分からない人も増えてきた 住民同士のつながり 住民の方と消防団の結びつきが強く、団の活動がスムーズ
開発余地	<ul style="list-style-type: none"> 日進三好線の整備(開発の余地) 農地が多く、発展の余地が大きい

テーマ2【地域での問題、課題】

第1回東部町まちづくり会議 2019年8月30日(金) チーム名: A(東部地域)

テーマ2: 地域での問題、課題は何か

	地域での問題、課題
生活の足が弱い	<ul style="list-style-type: none"> 車なしでは生活が難しい 市内に鉄道駅がない 車がなくて利便性が悪い 老人が利用するコミバスの少なさ 公共バスの便が少なく高齢者が不便 高齢者の移動手段
農地の荒れ	<ul style="list-style-type: none"> 活かされていない山林や農地 草刈が大変(やぎ?) 竹林の処置
開発余地	<ul style="list-style-type: none"> 米野木駅側の地域の開発が遅れている 商業開発しているが年寄はどうやっていくのか
高齢化・移住・コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者単独住まいの安全性? ・若者が少ない、外に出てしまう 移住者の永住 外国人移住 新しい世代の人とのコミュニケーションの取り方 地域活動を構成する諸役員が集まらない
介護	<ul style="list-style-type: none"> 社会的に信用のある総合病院がない 一人暮らしでも施設に入らず最後まで自宅で暮らす 在宅医対応(看取りをしてくれる) 認知症の方を地域で認知し安全見守りのできる対策 高齢者の介護予防対策
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> 日進三好線がでかきなので通行が迂回しなければならず不便 歩道の整備がまま 地区内の脇道が狭い、悪い
その他	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋圏にありながらいまだに愛知郡のままである 公園内禁煙にすべき

< 東部地域の総括 >

テーマ1【地域の優れた点・魅力、守るべき資源】

- 愛知池をはじめとする豊かな自然環境を有しているところ、白鳥神社の囃子太鼓や棒の手などの伝統・文化が守られているところ。
- 自動車交通の便に恵まれており、名古屋など隣接市へのアクセスが良い。
- 住民同士のつながりが強く、消防団などの活動もスムーズに行われている。

テーマ2【地域での問題、課題】

- 豊かな自然環境を有している反面、山林や農地の管理が課題となっている。
- 高齢化の進行に伴い、地域活動の担い手が不足している。
- 高齢化の進行や介護については、公共交通による生活の足が弱く車なしでは生活が難しい現状や、一人暮らしの高齢者の生活不安がある。地域で見守りができる体制が必要。

■ 中部地域

テーマ1【地域の優れた点・魅力、守るべき資源】

第1回東部町まちづくり会議 2019年8月30日(金) チーム名: B(中部地域)

テーマ1: 地域の優れた点・魅力、守るべき資源は何か

	地域の良いところ
住みやすさ	<ul style="list-style-type: none"> 境川のお散歩コースがのんびりしていて気持ちいい 団地内に緑が多い 静か! 道路整備よし 犯罪が少ない、緑が多い、空気が良い 住みやすさ、緑の多さ 住宅街が整備されている(和合ヶ丘地区) 東名三好ICと良い距離感 交通体系の編成(153号線)、生活基盤一線、文化的成熟 水田・山
生活の利便性	<ul style="list-style-type: none"> 郵便局、銀行、スーパー、医院が近くにある 小・中学校、児童館、保育園など近くて便利 医者は多い 日進駅まで徒歩10~15分 数多くの施設が隣接している 老人クラブ、いこま館 役場、町民会館が近い
地域のつながり	<ul style="list-style-type: none"> 盆踊り、お祭り 夏の盆踊り(そこそこ盛大?) 和合ヶ丘50年の蓄積と新しい動き、老・若の交流、近代化と現代化、文化の蓄積 世代が変わってまた新築が増えてきた? 地元の人たちがみなさんやさしい

テーマ2【地域での問題、課題】

第1回東部町まちづくり会議 2019年8月30日(金) チーム名: B(中部地域)

テーマ2: 地域での問題、課題は何か

	地域での問題、課題
居住環境の悪化	<ul style="list-style-type: none"> 緑の部分の手入れ(放棄地) 環境の保全、公園整備の主体形成 ボイ捨て
高齢化・世代間交流	<ul style="list-style-type: none"> 年齢構成が高い 世代間交流の困難(高齢世帯の孤立、若い家族への働きかけ) マンション所有者が賃貸に出した物件に外国人居住者が増えている 自治会加入率の低下 小学校は近いが、中学校は遠い 和合ヶ丘の中学生は学校が遠くて大変
交通	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティセンターまで巡回バスがこない(北山台) 153号線バイパスが交通の抜け道になっている(北山台) 歩行者と自転車道路が重なって危ない トラックが多くなっている 道路の格差 道路が狭く、子どもの通学路が確保できない
地域の魅力	<ul style="list-style-type: none"> いくところがない、やることがない 図書館⇒日進に比べ1/10 若者の集まる場所がない 家族でいく飲食店が少ない いこま館のありがたみがあまり感じられない(ジム高い、プール子供用×) 総合病院がない、大学がない 有力な国会議員がない

< 中部地域の総括 >

テーマ1【地域の優れた点・魅力、守るべき資源】

- 緑が多い、道路が整備されている、犯罪が少ないなど住宅地としての住みやすさや、商業施設や医院、公共施設が近くにある、日進駅までのアクセスも良いなど生活の利便性がある。
- 地域のつながりがあり、盆踊りなどのイベントも行われている。

テーマ2【地域での問題、課題】

- 緑に囲まれた良好な居住環境を有している反面、手入れの行き届いていない放棄地がある、高齢化の進行に伴い管理に係る担い手が不足している。
- 自動車交通については、通過交通が多い、通学路が確保できていない。
- 日常生活を送る上での最低限の利便性は確保されているが、若い人の集まる場所・行く場所がない、特産と言えるものがない。

■西部地域

テーマ1【地域の優れた点・魅力、守るべき資源】

第1回東郷町まちづくり会議 2019年8月30日(金) チーム名: C(西部地域)

テーマ1: 地域の優れた点・魅力、守るべき資源は何か

	地域の良いところ
生活環境	・住宅地がまとまった環境の良さ・緑、公園が豊か ・住まい周辺の道路の整備状況・自然災害が少ない
歴史資源	・祐福寺、浅間神社など史跡・重要建築物、寺、神社の存在 ・仏閣(祐福寺)・浅間神社 ・祐福寺(守る活動ができていない)
人口増加・若者が多い	・住人の増加(若い世代) ・子どもの医療の無料化 ・人口が増加している
人と人のつながり・地域活動	・夏、秋、祭り ・一斉清掃 ・コミュニティ活動が活発 ・祭り事 ・忘年会 ・住人同士のコミュニケーション ・地区の祭事、地域内のつながり、一斉清掃 ・老人の楽しみ(老人クラブ、毎週のお茶会) ・若い人も地域活動に積極的 ・公民館、遠い人も歩いてくる ・自治会行事の参加者が多い

テーマ2【地域での問題、課題】

第1回東郷町まちづくり会議 2019年8月30日(金) チーム名: C(西部地域)

テーマ2: 地域での問題、課題は何か

	地域での問題、課題
道路・交通安全	・車がないと生活できない ・道がせまい、通り抜けの車が多い、公共交通の便が悪い ・通学路が安全でない(車の抜け道) ・道路の接続が悪い、広い道が信号を境に狭くなっている ・名古屋・豊明に抜ける車が多く、事故が絶えない ・生活道路に通過交通が入り込んでくる ・渋滞 ・道路が狭い、救急車通れない ・ららぽーとができたさらに渋滞? 歩道がない ・交通混雑、祐福寺交差点 80~90kmスピード車が目立つ ・下水
公共交通・利便性	・公共交通が不便、バス停まで遠い、本数が少ない ・路線バスの本数、駅がない ・バス停に座るところがない ・交通機関が少ない ・何も無い駅 ・スーパー(食料品)が少ない
管理不十分	・空地の除草がされていない ・地主不在の土地が多い、草の除草が大変 ・側溝にフタのないところがある ・町全体が汚い ・不法駐車が多い(長期間放置)
自治会の維持	・地区の役員のなり手がいない ・地区の役員不足 ・自治会役員(特に会長候補)がいない! 一斉清掃参加世代(若い世代が参加しない) ・自治会加入率低下
その他	・役場の時間外時間が長い?

<西部地域の総括>

テーマ1【地域の優れた点・魅力、守るべき資源】

- 祐福寺や浅間神社など豊富な歴史資源を有している。
- 人と人のつながりが強く、一斉清掃やお祭り、老人クラブのイベントなど多くのコミュニティ活動が行われている。

テーマ2【地域での問題、課題】

- 通過交通が多く危険、渋滞が多い、道路が狭く歩道が確保されておらず、生活道路の環境が悪い。
- 路線バスの本数が少なく公共交通の便が悪い、スーパーが少ないなど日常生活の利便性に乏しい。
- 空地などの管理が不十分なところがあり除草が必要である。

3. 各グループの検討結果を受けて(全体の総括)

【テーマ1: 地域の優れた点・魅力、守るべき資源】

○自然や景観に恵まれた暮らしやすさ

・愛知池や境川などの自然環境や農地の広がる田園風景などに代表される自然・景観についての意見が多く出されました。静かで緑に囲まれた環境を有しており、暮らしやすいという意見もありました。

○歴史・文化

・白鳥神社や祐福寺、浅間神社などの寺社が立地していることや、伝統的な地域の祭り・行事などについての意見が多く出されました。

○地域コミュニティ(人と人のつながり)

・住人同士のつながりが強く、地域活動も活発に行われているという意見が多く出されました。祭りや老人クラブなどのイベントのほか、消防団の活動や一斉清掃なども行われており、地域の安心・安全を支えているという意見もありました。

【テーマ2: 地域での問題、課題】

○公共交通

・公共交通については、町内に鉄道駅がなく路線バスも運行頻度が少ないことから、どのグループでも不便だという意見が出されました。特に今後は、自家用車を使えない高齢者の移動手段の確保が重要だという意見が多く出されました。

○高齢化

・どのグループにおいても、高齢化に伴い地域活動の担い手が不足しているという意見が出されました。担い手の不足は、公園の管理が行き届かなかつたり、空地の除草・草刈が出来ていなかったりと、様々な場面で顕在化しているという意見もありました。
・若い世代や新規移住者との交流が課題となっているという意見もありました。

○生活道路の環境

・生活道路については、通過交通が多く、歩道がないため子どもの通学が危険などの意見がありました。

【地域ごとの発表の様子】

